

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	認知症高齢者家族やすらぎ事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名 佐藤里佳
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実	所属班	高齢者保険班	(内線) 2114
				法令根拠	介護保険法 合志市認知症高齢者家族やすらぎ支援事業実施要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	30	11	2	5	10484			コスト削減優先度評価結果	—

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 12 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
日常生活自立度判定基準ランクⅠからⅡbまでか、これに準ずる認知症高齢者を介護している家族への支援を図り、家族の身体的、精神的な負担を軽減し、在宅生活の継続及び向上を図る。
認知症高齢者を介護している家族の留守中又は、介護疲れで休憩が必要な時間帯に訪問し、見守り・話し相手をする。

【業務の流れ】
認知症高齢者家族やすらぎ支援事業申請書の提出後、地域会議で審査のうえ決定する。
事業は社会福祉協議会に委託。

【主な予算費目】
1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) H20年度と同様
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 社会福祉協議会が介護者の代わりに見守り、話し相手をする事業に対する委託料。利用者数6名。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 見守り、話し相手を利用した人数 人 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 認知症高齢者を介護している家族で、やすらぎ支援員の派遣が必要な世帯。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 認知症高齢者を介護している家族数 人 → イ 認知症高齢者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 身体的、精神的、経済的負担の軽減が図られる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 身体的、精神的、経済的に助かった人数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 介護サービス利用者の満足度 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	101	178	210	92	104	235	235	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円	51	89	105	46	52	117	117		
		地方債	千円									
		その他	千円	47	83	99	52	52	110	110		
		繰入金	千円	51	89	105	24	52	118	118		
		一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	250	439	519	214	260	580	580			
	うち指定経費	千円										
	うち時間外、特殊勤務手当	千円										
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	48	50	50	59	50	50	50			
	(B)人件費計	千円	191	199	199	235	199	199	199			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	441	638	718	449	459	779	779			

活動指標	人	3	6	10	6	10	10	10	10	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
対象指標	人	3	6	10	6	10	10	10	10	
成果指標	人	3	6	10	6	10	10	10	10	
上位成果指標	%		69.7	80	69.7	80	80	80	80	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成12年度に地域ささえあい事業として介護負担軽減を目的に県の推薦を受け、県下振興局単位でモデル地域として開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
利用家族数は開始より増加しており、現在は6家族が利用。
全国的に介護疲れによる事件の報道が目立つようになってきており、介護虐待を含めて介護負担軽減のための事業は重要視されてきている。
認知症に対する地域の理解はあまり進んでいない、結果この事業の普及が家族やその周辺の理解へとつながっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
家族は一定の時間自らの時間を確保でき、安らぐ時間が持てると感謝されている。

事務事業名	認知症高齢者家族やすらぎ事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 認知症高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減が図られることにより、不自由なく地域の中で生活できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 施設に入所すれば市の負担が増加するが、在宅であれば市の負担は軽減される。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 認知症高齢者を介護している家族の介護の軽減を図るためにも事業を継続していく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 認知症高齢者を介護している家族の介護の軽減を図るためにも事業を継続していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 認知症高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担が重くなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 認知症は高齢者特有の病気であるため。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託で行っているため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託で行っているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 利用している家族に限られているので、不公平になっている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	認知症高齢者を介護している家族の介護の軽減を図るためにも事業を継続していく必要がある。利用している家族に限られているので、不公平になっていると思われるので、事業の周知が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 民生委員介護等により事業を周知する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
-----------------------------------	--	--	--	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)